

五島 三井楽の海で定置網漁師に！！

五島漁業協同組合 三井楽定置(株) 吉川 将さん 39歳

漁業暦18年

吉川さんは、定置網漁業の従業員として従事しています。

吉川さんは五島市三井楽生まれ。幼い頃は父親が船乗りだったため、漠然と海には興味を持っていましたが、漁師になるうとは思っていませんでした。高校卒業後、奈良県のスーパーに鮮魚販売担当として就職。結婚を機に五島に戻ってきました。義理の父の船に乗り漁師の仕事にはじめて出合いました。五島の海の素晴らしさにあらためて気付き魅了されました。
24歳の頃に地元三井楽の先輩に誘われ、今の職場、「三井楽定置」に就職しました。定置網の仕事はハードですが、網を揚げるときのワクワクは今でも最高とのこと。吉川さんは「季節ごとに獲れる魚が変わってくる。獲れる魚を予想しながら網を揚げ、思った通りの魚が入るとテンションが上がる。」と話します。定置網の仕事には自然の中で働く楽しさがあるそうです。



経歴



18歳 高校卒業後、奈良県のスーパーに就職

スーパーの鮮魚担当に配属され、買い手・売り手の両方から魚を見るようになり、大きく影響を受けました。

21歳 結婚を機に五島にUターン

義父の船に同乗し、漁業を初めて経験。漁業に携わることを決心。

23歳 三井楽定置に就職

地元の先輩に誘われ、三井楽定置に就職。



吉川さんの仕事について

操業

朝6時半に三井楽漁港を出港し、二つある定置網を上げて、魚を獲ります。シケなどで作業が思うようにならないこともありますが、楽しい仕事です。三井楽定置の漁場は歴史が古く、水揚げが多い漁場として有名です。



出荷作業

10時ごろに港に戻り、みんなで出荷作業をします。全員が魚を丁寧に扱うことに気を使っています。そのおかげで、市場では高い評価を受けています。

網補修など

出荷が終わったら、網の補修や船のメンテナンスなどをします。日々の漁に備える大事な仕事です。

職場の雰囲気

ほとんどの従業員が漁師未経験からのスタート。自由な雰囲気、メリハリがハッキリした職場。従業員は地元出身者が多いですが、島外から移住してきた人もいます。段取りが上手くいかない日もありますが、チームワークを大切にする職場なので、不思議と苦にはなりません。

従業員数・年齢構成

現在の従業員数は16名。半数が40代以下の若手。定置網は代々受け継いでいく漁です。自分達も次の世代に繋ぐことを意識しているので、若い人を大切にします。

(趣味・地域の活動)

仕事が終わったらナイターソフトに汗を流しています。その後は、みんなで乾杯。

また、地元の50~60名の若手で「わかもん会」を作っており、イベントを行ったり地域おこしの活動もしています。

(子育て)

3人の子供達は全員、海や魚を身近に感じて育ちました。特に長男は子供の頃から海が好きで、一本釣り漁師を目指して本格的に頑張っています。



漁業就業を目指す方へ

定置網漁業は、漁師未経験からでも大丈夫です。もちろん、学歴も関係ありません。大事なことは、体を使って、汗をかいて少しずつ仕事を覚えること。体力を使う仕事ですが、自然を相手にする仕事なので、心が解放され頭がクリアになります。まずは、経験して自然相手の仕事に慣れることです。一緒に定置網をしませんか？

吉川さんの本音チャート

